「規定審議会に見る 元気になるクラブ運営」

源流の会 2016年10月15日川崎

ロータリーの110年

(創始期)

「組織確立」

例会と1業1会員 道徳律(1915) 決議23-34 超我の奉仕 シェルドンスクール 国際奉仕概念の創設

(拡大期)

「青少年活動」

インターアクト12-18歳RI承認1962年 ローターアクト18-30歳RI承認1968年 RYLA14-30歳 RI承認1971年 ロータリー青少年交換15-19歳RI承認1974年 財団奨学制度1947、GSE1965

(停滞期) 「変革圧力の増大」

COLでの規制緩和 試験的プログラム(例外の導入) 戦略計画の発動 多様性と柔軟性

1905——1930——1955——1980——2005—現在

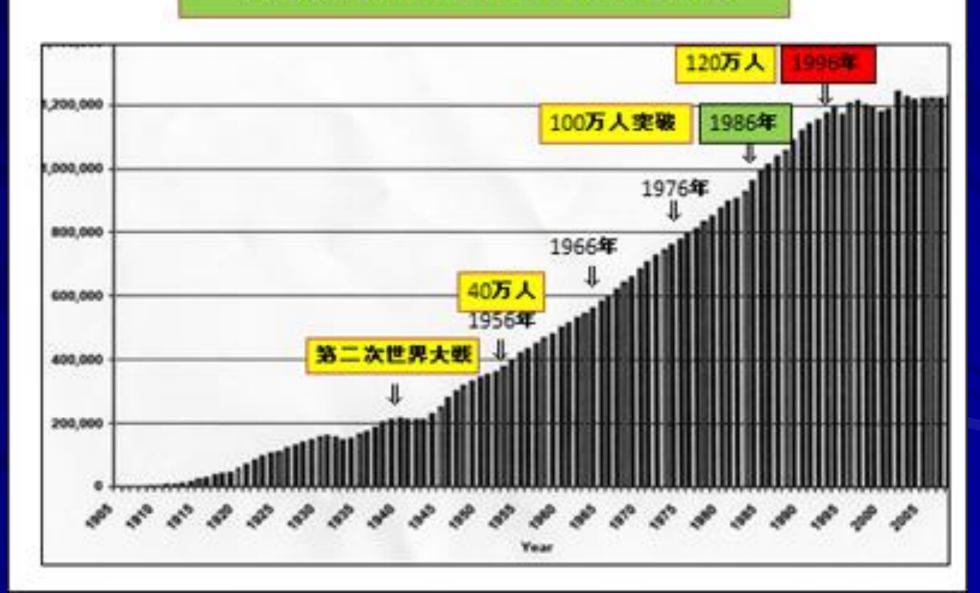
(受難期)

世界大恐慌1929~33 「世界大戦」 日本等の離脱 戦後の復興

(発展期)

「人道的活動」 3Hプログラム1978 ポリオ撲滅キャンペーン1985〜現在 財団プログラムの拡充

会員数の変化とRI戦略



戦略計画が目指すロータリーの姿

活発なクラブ

より大きな注目と影響



より大きな活動成果

より安定した財務状況と高い運営効率

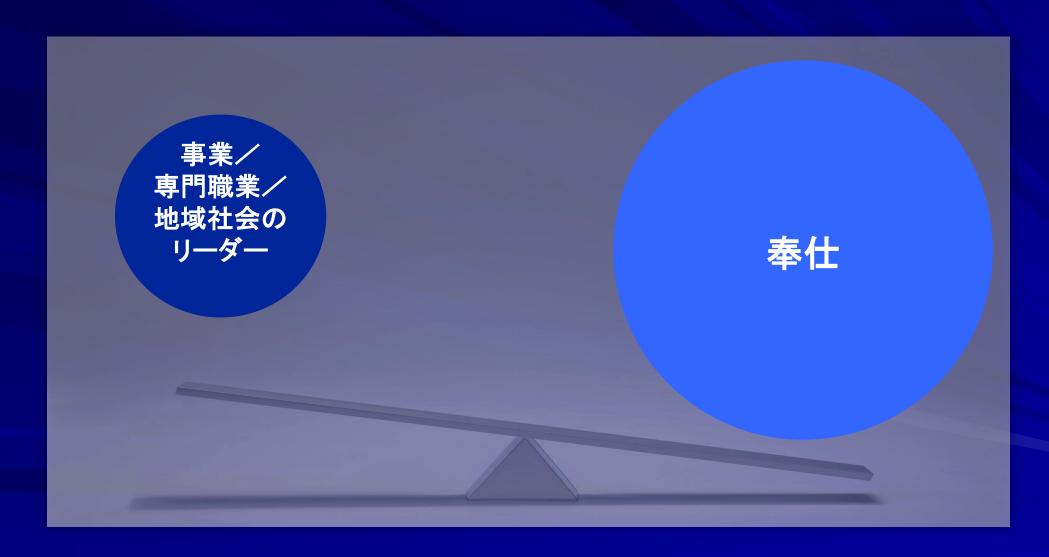
2015年10月の決定

理事会は以下のことに同意

ロータリーは 時代に追い ついていか なければな らない

ロータリーは 時代に適応 しなければ ならない ロータリーは 将来への備 えができて いなければ ならない

最近までのロータリーの位置づけ:人道的奉仕団体

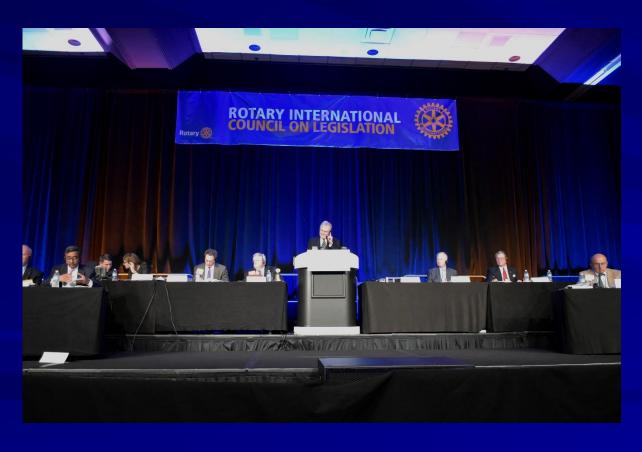


他団体との差別化の機会は以下の「および」



2016年規定審議会

2016年4月10日(日)~14日(土)





2016年規定審議会の最大のトピックス ⇒「柔軟性」という「例外規定」の導入

(2016年10月RI理事会の戦略計画の見直しを前提に)

⇒1922年ロス国際大会以来の大改革

(標準ロータリークラブ定款順守から例外規定という自治権の回復)

但し、標準RC定款の全ての内容を例外規定が優先するという訳ではない。

- 16-21 例会と出席に柔軟性を認める件
- 16-36 会員身分に柔軟性を認める件
- 16-38 クラブの構成の簡素化

16-21

クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブ細則で定める。 ただし、最低1ケ月に2回は開催しなければならない。

(クラブ細則で例会頻度、最低月二回を前提に任意に開催できる意味は、週に一回だけではなく2回以上例会を開催できる事を意味している。また、標準ロータリークラブ定款第9条の出席規定もクラブ定款と違う方法、つまり出席しなくても退会にならない文言を細則で例外として認められることになった。)

会員身分の変遷

- 1915年アディッショナル会員
- 1930年パストサービス会員
- 1939年シニアアクチブ会員
- 1970年シニアアクチブ会員自動化(15年)
 - この段階で、同業種が7名まで実質可
- 2001年正会員と名誉会員のみの2種類へ変更
 - 退職者も継続して会員資格
 - (職業分類を維持)
- 2007年規定審議会財団学友を正会員・地域社会の活動参加者正会員
- 2013年規定審議会仕事をしたことのない人、または仕事を中断している人を正会員と認める。(主婦・主夫もOK)職業分類は専業主婦(主夫)Stay-at-home parent Homemaker

16-36

会員身分に柔軟性を認める件提案:RI理事会

国際ロータリー定款を次のように改定する。

第5条 会員

第3節 会員身分の例外規定

クラブは、第5条第2節に従わない会員資格に関する規定や要件を採用することができる。かかる規則や要件はこの定款のこれらの節に定める規定や要件よりも優先されるものとする。

会員身分をクラブ独自で決定できる。

(正会員と名誉会員の分類は残る)

⇒386対75で採択

16-36の意味する事

- ■標準ロータリークラブ定款に正会員と名誉会員を残しつつ、正会員のサブカテゴリーにライオンズクラブに準拠するなら正会員(家族会員含む)、不在会員、名誉会員、優待会員、終身会員、準会員および賛助会員などが可能になる。
- ■因みに、ライオンズの家族会員は、年会費一万円、地区分担金4000円、例会出席免除、正会員としての権利をすべて保持。

16 - 38

RI定款第五条クラブの構成の簡素化

善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受け奉仕の意欲のある成人とする。

その他の従来の条件はすべて削除。

※中核的価値観を保持している会員で構成する必要が

明確になった。(以前より厳しい基準になっている)

※会員身分の「民主化」の歴史的文言の削除

善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受け 奉仕の意欲のある成人

事業事門職

裁量権のある管理職

/上記からの退職者 地域社会のリーダー ロータリーの学友

仕事を中断した人 仕事をしたことのない人

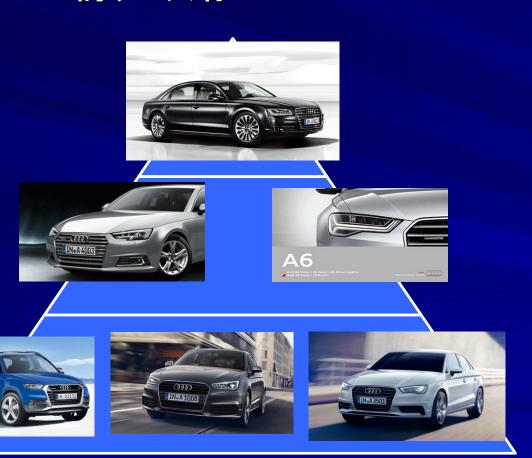
日本の 、伝統的運営クラブ

日本のロータリーの課題

- ●日本のロータリークラブの門戸開放
- ●新クラブの創設
- ●地域の「個性」の違い
- 単新的な取り組みを誰が?何時?何処で?⇒元気になるクラブ運営は?

ステータスとプレミアムブランド

プレミアムブランドの基本戦略はエンブ レムへの誇りの共有



善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受け奉 仕の意欲のある成人の集まる

プレミアムブラントとして「多様な」ロータリークラブの構成



伝統的クラブ

潜在的なロータリアン

善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受け 奉仕の意欲のある成人

事業專門職

裁量権のある管理職人

高額所得者社用族 の構成

/上記からの退職者 地域社会のリーダー ロータリーの学友

仕事を中断した人 仕事をしたことのない人 日本の 伝統的クラブ

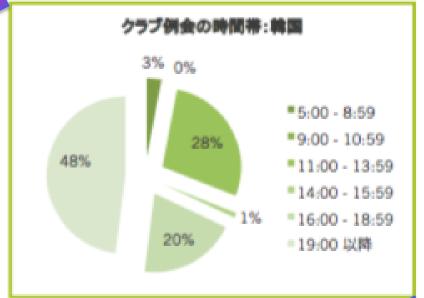
庭訓的所得の 個人会員

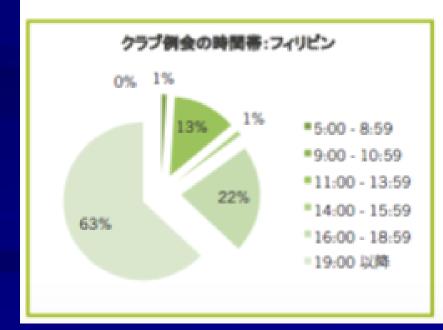
クラブ例会日

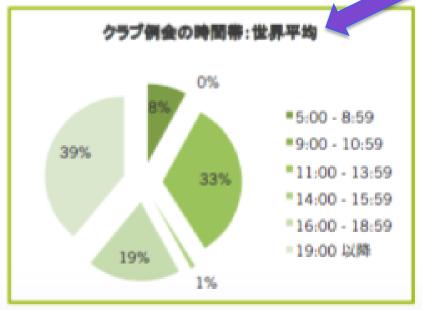
以下の表にあるパーセンテージは、各地域で最も例会が多い曜日の割合を示しています。

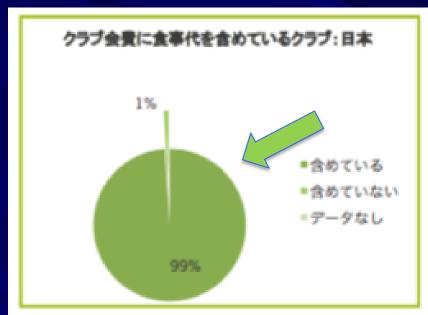
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
•	•	•		•	20%	
	•			25%		•
		25%			•	
	•			31%	•	
	•		22%			•
		25%			•	
	•		25%	25%	25%	25%

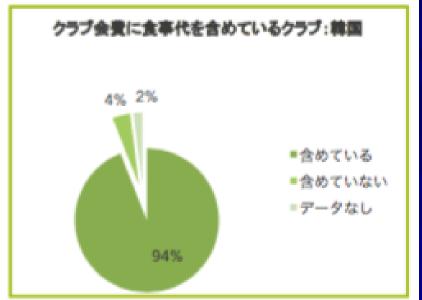


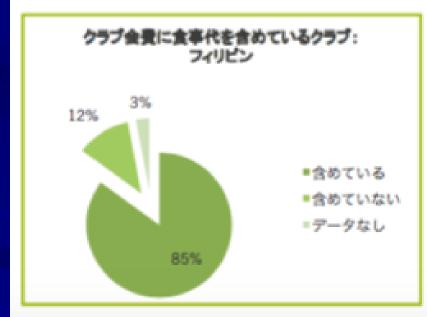


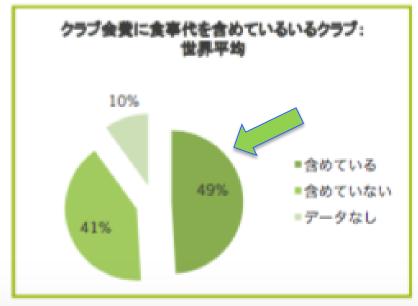






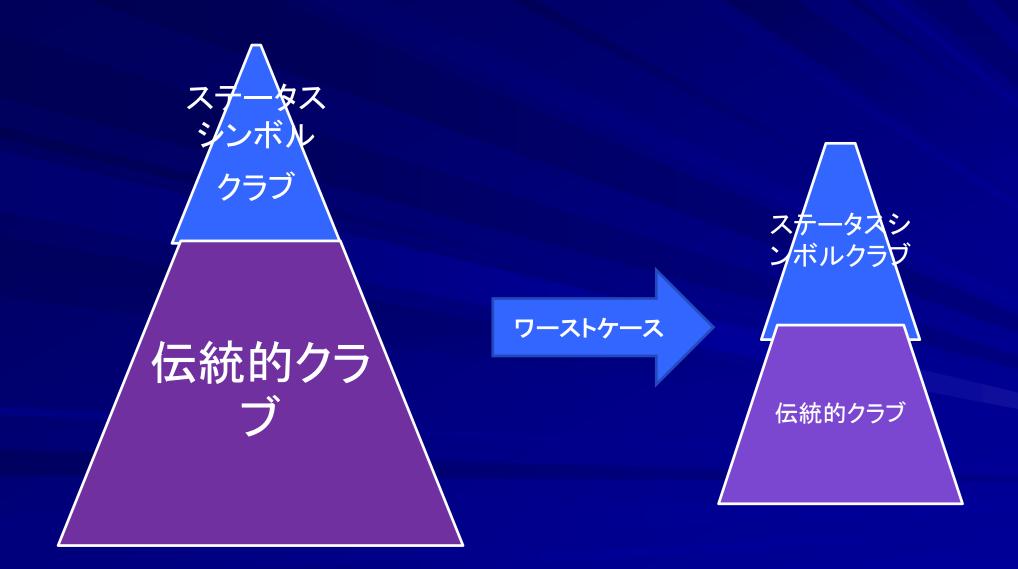








人口減少で社用族だけのロータリーでは?



日本のロータリーの課題

- ●既存のクラブ2極化
- ●伝統的クラブの運営革新と新クラブ創設
- ●地域の「個性」の違い
- 単新的な取り組みを誰が?何時?何処で?⇒元気になるクラブ運営は?

ステータスとプレミアムブランド

プレミアムブランドの基本戦略はエンブ レムへの誇りの共有



プレミアムブラントとして「多様な」ロータリークラブの構成

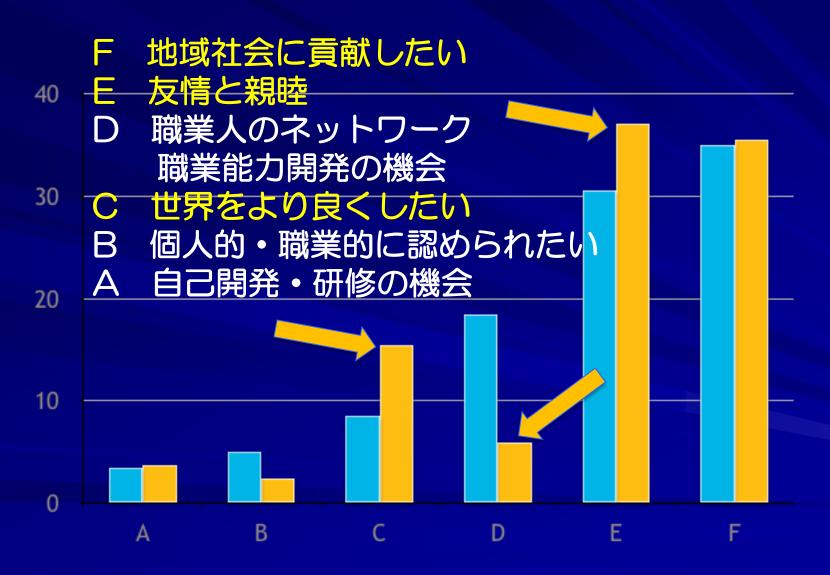


スチータス

伝統的クラブの 運営革新

新しい取り組みの新クラブ

ロータリー入会の主な理由 継続の理由



例会出席だけがロータリー活動?

- ●つまらない例会、内向きの「閉鎖状態」のクラブ
- ●例会至上、個人奉仕を建前にして団体奉仕を拒否しているクラブ
- ●仲間内の親睦を大事にして他人を入れないクラブ
- ●「ステータス」と「原理主義(自分が正しい)」による「縮小是認論」→純粋のロータリアンを残すという選民意識

ロータリーとの係りの総量

●例会出席率だけがクラブ活力の指標ではない

●活力のある元気なクラブは∑(活動量)+∑(活動の質・学び)=(活動の総量÷メンバー数)に相関するという仮説

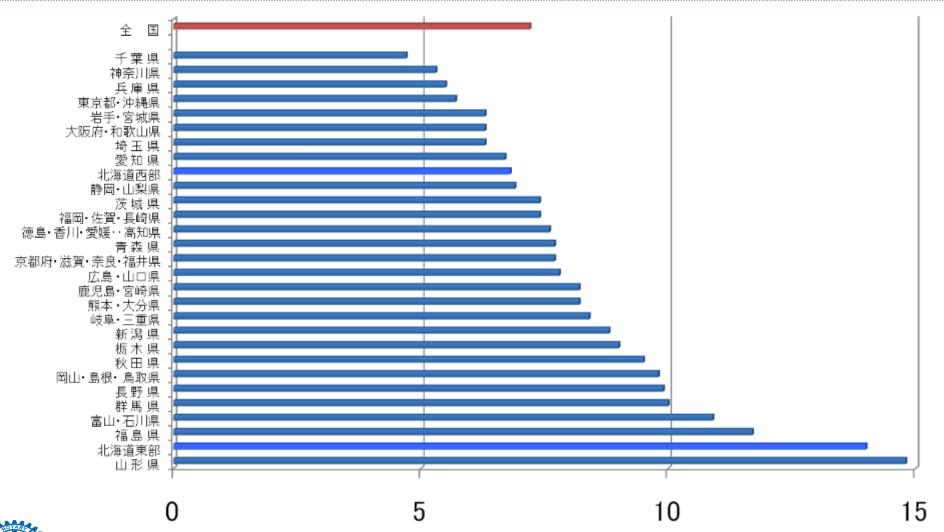
●JRIC、源流でのコミュニケーション,源流アーカイブスの閲覧、地区、地区外活動、国際奉仕、メンバーとの非公式活動、

- ■「私費会員クラブ」の活力によるロータリーの復興
- ■ライオンズクラブに準拠するなら正会員(家族会員含む)、不在会員、名誉会員、優待会員、終身会員、準会員および賛助会員などが可能
 - 因みに、ライオンズの家族会員は、年会費一万円、地区分担金 4000円、例会出席免除、正会員としての権利をすべて保持。
- ■衛星クラブの活用(アクト、子弟、夫人、プロバス)
- ■例会運営の革新(頻度、例会の形、参加型例会運営)
- ■地区運営の革新(高額な分担金、高額な地区参加費用)

日本のロータリーの課題

- ●既存のクラブ2極化
- の新クラブの創設
- ●地域の「個性」の違い
- ●革新的な取り組みを誰が?何時?何処 で?⇒元気になるクラブ運営は?

県別人口1万人当りロータリーアン数





日本のロータリーの課題

- ●既存のクラブ2極化
- の新クラブの創設
- ・地域の「個性」の違い
- ●革新的な取り組みを誰が?何時?何処 で?